

神奈川県立麻生高等学校

平成 30 年度入学者選抜選考基準

○学力要素を的確に把握するため

選抜では、**学力検査**と**面接**を実施します。

○選考では、中学校での学習状況を把握するため調査書の評定も活用し選考します。

調査書の評定 学力検査の結果 面接の結果

調査書の評定

$A = (\text{第 2 学年の 9 教科の評定合計}) + (\text{第 3 学年の 9 教科の評定合計}) \times 2$

ただし、英語の評定を 1.5 倍、音楽か美術のどちらか高い方の評定を 1.2 倍する。

学力検査の結果

中学校で学習した、「基礎的・基本的な知識及び技能」や「思考力、判断力、表現力等」を測ります。

$B = \text{学力検査の合計点 (英語、国語、数学、理科、社会の 5 教科} \times 100 \text{ 点)}$

面接の結果

調査書の評定や学力検査などの数値のみでなく、みなさんの個性や能力、適性を多面的にとらえ、特性や長所にも着目した面接を行います。

<共通の観点>

- ① 中学校での教科等に対する学習意欲
- ② 中学 3 年間での教科等以外の活動に対する意欲
- ③ 入学希望の理由

<学校ごとの観点>

- ④ 高校での教科、科目等に対する学習意欲
- ⑤ 高校での教科、科目等以外の活動に対する意欲
- ⑥ 将来の展望
- ⑦ 面接の態度

$C = \text{面接の得点}$

数値の算出

調査書の評定 A、学力検査の結果 B、面接の結果 C をそれぞれ 100 点換算した数値を a、b、c として、合計の数値を算出する。

<第 1 次選考> 募集人員の 90% まで

合計の数値 $S = (a) \times 4 + (b) \times 4 + (c) \times 2$

<第 2 次選考>

合計の数値 $S = (b) \times 8 + (c) \times 2$

	比 率		
	学習の記録 (評定)	学力検査	面接
第1次 選考	4	4	2
第2次 選考	—	8	2